学校番号	209

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳世界史探究						
副教材等	帝国書院（発行）「明解世界史図説　エスカリエ　十一訂版」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史演習では、従来の世界史探究の単元とは別に、環大西洋革命（産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命）から学習を行う。この単元は、歴史総合では学習している内容であるが、より深く演習的な内容を学習する。また歴史総合では触れない内容から、歴史的思考力・資料活用能力の育成を目的とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと、特に近現代の展開に関わる諸事情について理解するとともに諸資料から世界の近現代史に関する情報を適切にまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと、特に近現代の展開に関わる事象の意味・意義・特色などを考察したり、現代まで続く歴史にみられる諸課題を把握し、解決をめざして構想する力や、その考察・構想を効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと、特に近現代の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、特に近代において生まれ、現代まで続く様々な課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近代以降の世界史を学習し、各地域の歴史的事象を理解する。	資料を読み取り、各時代がどのように現代史につながるかという歴史的思考力を習得する。	当時の歴史的事象の観点に立ち、歴史の繋がりを主体的に考察している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1	環大西洋革命・１９世紀の世界	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ウィーン体制と国民国家 ・アメリカ南北戦争	a:環大西洋革命とウィーン体制、その後の７月・２月革命などが起こった因果関係を理解する。 b:ウィーン体制がなぜどうようし、各地域でどのようにナショナリズムが起こったか、歴史的背景を表現できる。 c:１９世紀の革命と国民国家の形成を、歴史的思考力と資料を活用して表現できる。	定期考査 定着テスト	定期考査 レポート	レポート 歴史来な問いに対する回答
2	帝国主義と２度の世界大戦	・東アジアの激動 ・世界分割競争 ・第一次世界大戦 ・第二次世界大戦	a:帝国主義と、世界の植民地獲得競争について、各列強国の動きを理解する。 b:アヘン戦争からの東アジア情勢から明治維新にかけて、欧米諸国と日本の動きなどの歴史的背景を表現できる。 c:日本の視点から、帝国主義の動きを理解し、また支配された側の視点にも立って、主体的に歴史的思考ができる。	定期考査 定着テスト	定期考査 レポート	レポート 歴史来な問いに対する回答
3	冷戦と２１世紀の世界	・東西冷戦 ・雪解けと多極化 ・ソ連崩壊と冷戦終結 ・現代のグローバル社会	a:戦後の国際秩序と冷戦について、日本の視点も含め理解する。 b:冷戦時の構造と、冷戦体制がなぜ多極化したのかを表現できる。 c:戦後の歴史は、現代の私たちの生活とどのようにつながっているのか、主体的に歴史的思考ができる。	定期考査 定着テスト	定期考査 レポート	レポート 歴史来な問いに対する回答

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度